

プラット エクス

vol. 16



TOYOHASHI
ARTS
THEATRE
PLAT

高校生と創る演劇

『赤鬼』

2015年11月7日 - 8日
PLAT主ホール舞台上特設舞台



昨年の「穂の国の『転校生』」で始まった「高校生と創る演劇シリーズ」。プラットと高校生が一緒になって創りあげる冒険が、この秋の本番にむけて再び動きだしました。5月のワークショップオーディションを通過した東三河を中心とした高校生16名の出演者たちは、9月下旬から始まる稽古に向けて、この8月に4日間にわたるプレワークショップを行いました。前半3日間は黒澤世莉さんら演出部による演技のワークショップ。最終日は衣裳の及川千春さんと音響の市来邦比古さんからそれぞれのスタッフワークも学び、プロとともに創りあげていく感覚を得た夏休みの4日間。そこで、この4日間をレポートしました。



好評
発売中

高校生と創る演劇『赤鬼』

- 作＝野田秀樹 ●演出＝黒澤世莉[時間堂]
- 出演＝オーディションで選ばれた高校生
- 日時＝2015年
11月7日[土] 13:00開演・19:00開演
11月8日[日] 13:00開演・17:00開演
- 会場＝PLAT主ホール舞台上特設舞台
- 料金＝[日時指定・全席自由・整理番号付き]
一般:2,000円/24歳以下:1,000円
高校生以下:500円

目指せプライチ! 黒澤世莉と高校生の挑戦!!

撮影＝萩原ヤスコ

◆8月18日[初日]

初めての顔合わせは、この芝居を素敵なものにするためにみんなで目標を立てようという話から始まり、出演者たちは緊張とワクワク。まずはムービング(振付)の小林真梨恵さんによるビューティレッスン。音楽に合わせてリズムカルにストレッチ・筋力トレーニングを行います。今回の『赤鬼』は、初演の4人芝居ではなく、身体表現の多いタイヴァージョンをもとに上演するため体力が必要になります。腹筋で上体が起こせず苦しそうな子もみんな必死に頑張ります。身体の形を意識することが大事と小林さん。ワークショップ前半3日間は毎日このトレーニングを行いました。

後半は、1つのシーンを4チームに分かれて創ってみます。「今の自分たちは何ができて何ができないのかを考える」「話しかけられるから言葉を返す。独り言にならないように、誰に向かってセリフを言うのか意識する」など、他者と自分が関係し合うことで演劇になることを出演者に伝え



ます。「ノープランで稽古に来ない。チャレンジしてほしい」という黒澤さんの言葉にみんな失敗を恐れず精一杯演技に取り組む様子は真剣そのものでした。

1日目の最後にみんなで話し合い。プラットでナンバー1のお芝居を創る! 略して「プライチ」という目標を掲げ、良い作品を創る意識と団結力が高まりました。

◆8月19日[2日目]

昨日の振り返りからスタート。黒澤さんはワークを行うごとに彼らに今何を感じているかを問います。自分がどんな状況なのか、どんな気持ちなのかをアウトプットすることで自分のことを知ってもらうのが狙いです。人形のように他者に動かされるワークでは関節や筋肉の動き、重心はどこかなど、体感の意識を高め、また、『赤鬼』に出てくる洞窟や海などのイメージを動きにするなど、ムービングのもとになる身体の使い方を体験します。

後半はチームに分かれてのシーンの練習。芝居をする前に、二人一組となり相手の言葉を反復しそのままの感情を出すリピテーションというワーク。これは、リアルな感情が芝居に乗り、独りよがりな演技ではなくなっていくというものです。他者と関係し合い言葉を交わし合う演劇は面白く、徐々に彼らの演技が光ります。

◆8月20日[3日目]

1、2日目でチームごとに創作したシー

演出 黒澤世莉



「高校生と創る演劇」にこそある魅力とは何か

豊橋のみなさま、こんにちは。黒澤世莉です。このたび「高校生と創る演劇『赤鬼』」の演出をします。豊橋のお気に入りには鈴木珈琲店です。

プラットにはじめて伺ったのは今年の2月、市民のみなさんとのワークショップをしました。とても素直に楽しんでいただいて、わたしも楽しく過ごせました。全国の劇場を見てきましたが、プラットは施設も素敵ですし、なによりプログラムの充実が目を見張りました。それから、昨年「穂の国の『転校生』」の映像を拝見して、出演者の瑞々しさを堪能しました。

5月に『赤鬼』のワークショップオーディションをしました。16人の出演者を選びました。選ばれなかったひとは当然残念でしょうが、選ぶ方も心苦しいものです。参加者全員に出演して欲しい思いもあり悩みましたが、上演作品がより面白くなるための作戦にそって、約半数まで絞り込みました。「高校生と創る演劇」とはいつても、お金をいただく以上「プロの演劇」と変わりません。厳しいかもしれませんが、作品の質のために、現時点でのベストメンバーを選びました。8月には出演者と4日間、ワークショップを行いました。まず最初に『赤鬼』の目標をみんなに決めてもらいました。「今までのプラットで一番面白い演劇にする」そうなので、私もそれを目指してがんばります。『転校生』はもちろん、他のプロの演劇を越えるということです。

『赤鬼』は、海の向こうから来た異邦人が、村人に迫害されるお話です。今までたくさんの上演を重ねてきた理由は、この物語の奥底に希望が眠っているからだと思います。出演者にはハードワークを積んでもらって、彼らの躍動する姿から、汗と息吹から、言葉にも声にもならない希望と未来が描けたら、プラットで一番という夢も、あながち絵に描いた餅ではなくなるかもしれません。というよりも、わたしはそれを信じています。

「プロ野球」より「高校野球」が好きなひとがいます。強さでいえば高校生よりプロ

ンを発表します。その準備のためワークショップ後もチームで練習し、帰宅後も自主的に本読みをするなど熱意たっぷりな様子が見られました。本番と同じ四方から舞台を囲む空間を体験することもあり、感情が昂り自然と涙があふれる子も。でもそれは黒澤さんと早くも信頼関係が築けたからこそ感情をむき出しにできたのでしょう。1人ずつに対し丁寧にダメ出しをする黒澤さんの言葉に真っ直ぐな目で聞く彼らは吸収が早く、一瞬一瞬に成長しているようです。

◆8月21日 [4日目]

前半は及川千春さんによる衣裳ワークショップ。みんなで赤鬼役の衣裳パーツを作りました。縫うだけではなく、ちぎる、結ぶ、などいろんな方法があると教えてくれる及川さんの話に興味津津。赤鬼の肌、質感をイメージして各々もくもくと作成しました。それらのパーツをもとに及川さんが衣裳を作成するのです。



後半は、市来邦比古さんの音響ワークショップ。音具を使って喜怒哀楽の感情や、キレイ、汚い、固い、柔らかいなどイメージを音で表現。そして雷や雨、赤ちゃんの泣き声などいろんな音の鳴る楽器から自分に合ったものを一つ選びます。音が人と人之間を流れる空気となり、喜怒哀楽を持ち、お互いが関係し合って言葉を出していく環境になったら面白い、と市来さん。音で感情を伝え合うことを知った彼らは楽しそう、いろんな音を出し、夢中で音の可能性を探りました。

さて9月になると出演者たちだけで本読みなどの自主練習を行い、月末からいよいよ本格的に稽古が始まります。日々の練習を繋げていく彼らのパワーアップした姿が楽しみです。



に決まっていますから、強さだけが魅力ではないんでしょう。では「プロ野球」にはなくて「高校野球」にはある魅力とは何なのか。そこを考えていくと、高校生と創る演劇『赤鬼』のヒントが見えてきます。「プロの演劇」にはなく「高校生と創る演劇」にはある魅力とは何か。答えは11月7日・8日にお見せしますので、お楽しみに。

【くろざわ・せり】 演出家。時間堂主宰。佐藤佐吉賞優秀作品賞、演出賞受賞。スタニスラフスキーとサンフォードマイズナーを学び、時間堂として活動を開始。劇団外部の演出も多数。「俳優の魅力を活かすシンプルかつ奥深い演劇」を標榜し、俳優と観客の間に生まれ、瞬間瞬間移ろうものを濃密に描き出す。俳優指導者やファシリテーターとしても円演劇研究所やENBUゼミ、PAVLIC他で活動中。

穂の国とよはし芸術劇場PLATプロデュース

『父よ!』

2015年10月22日—25日

PLAT アートスペース



生きているからこそ背負う悲しさ。
でも過去形ではなく未来に向かって
いるのが、この作品の素敵どころ。

2013年に穂の国とよはし芸術劇場PLATの小劇場「アートスペース」こけら落としに上演され、大好評を博した『父よ!』が、東京での10公演、そして長野市芸術館開館プレイベントを経て再演される。と、さらっと書いてしまったけれど、この作品は「演劇を上演するホール」の所信表明であり、豊橋発を目指す署名のような作品だったわけで、作品、劇場を取り巻くすべての方々の思いが深く込められていた。再演は、そのスタートが改めて評価されたことの証明。だからこそ、初演を観た方、見逃してしまった方、どちらにも見ていただきたい。

撮影＝谷古宇正彦

それぞれ家庭も仕事も築いてそれなりに幸せな生活を送っているはずの4兄弟。いや、いじられ役の末弟だけは売れない役者だからちょっと違うか。一人暮らしをしている老父の面倒を誰が見るか、その話し合いのために実家に集まってきた彼ら。互いの近況をどこか探るように、とりとめのないバカバカしい会話が続く—。稽古場に集った人々に笑い声がひんぱんに上がる。役者同士も思わず吹き出したり。なのに物語が後半に向かっていくにつれ、何度も涙がこみ上げてきて仕方がない。

9月8日は、東京での『父よ!』の稽古初日だった。稽古場には、懐かしい下村家のお茶の間のセット。出演者が三々五々集まり始める。近況報告でもしているのか、にこやかに話す姿は2年という隔たりをものもしない、なんだか『父よ!』に出てくる兄弟たちそのままに見える。

14時稽古開始。出演者や演出家、スタッフ紹介が行われ、平田満さん、作・演出の田村孝裕さんのあいさつが続き、いよいよ台本の読み合わせが始まる。せっかくセットがあるのだからと、5人の出演者がちゃぶ台を囲む。海千山千のベテランたちはさすがだ。気負いのない、自然体のせりふのやりとりが、リアリティーを醸し出す。

兄弟なのに、いや兄弟だからこそ知っているようで知らないお互いの事情。兄弟だからこそ、知られたくない自分の事情。そして、実は父の“本当”だって知らない。本読みを終え、中島晴美シニアプロデューサーも加わってしばし座談会を行う。

中島●「親父に聞いてないことはたくさん

ある。話さなきゃいけないこともまだまだある。俺たちは親父と、話をしなさずぎた」とせりふにありますけど、皆さん、初演を終えてお父様とちゃんと話されていますか？

花王●うちの親父、もう30年くらい前に亡くなっているもん(笑)。

ベンガル●息子と男親なんてそんなにしゃべらないもんです。

花王●僕は長男役をやってますけど、年齢的には父親役でも不思議じゃない。むしろお父さんの気持ちがわかる気がする。

ベンガル●僕らもみんなそっちの年齢に近づいているもんね。

花王●先日、別のお芝居で「特攻隊の青年が最後に呼ぶのはお母さんのことで、親父のことじゃないよね」って話になって。

平田●確かに呼ばないかも。必ず「お母さん!」だって言いますよね。

ベンガル●でも父親でも母親でも「もう少し話しておけば」と思うことはあるなあ。親と子の関係って人間の永遠のテーマですから。

平田●この兄弟たちも久々に集まってわいわい話しているけれど、ふだんはきっと会話もないでしょう。それぞれが嘘をついて本当のことを言わずにいるんだから、すごく孤独ですよ。目の前で繰り広げられるやりとりは、本当にバカバカしいんだけど(苦笑)。

徳井●僕の役は、自分の才能に限界を感じて夢をあきらめるということがテーマ。それも普遍的な、みんなが感じることだと思うんです。



作・演出
田村孝裕
月日が
作品を深める

〔たむら・たかひろ〕1976年生まれ。東京都出身。1998年劇団「ONEOR8」を旗揚げ、作・演出を務める。2010年「絶滅のトリ」、2011年「連結の子」が岸田國士戯曲賞候補になり注目を集め、近年は、様々なプロデュース公演にも作品を提供し、演出も手掛ける。主な作品に、穂の国とよはし芸術劇場プロデュース『父よ!』(作・演出)、シアタークリエ「ええから加減」(作・演出)、ONEOR8「世界は嘘で出来ている」など。その他、映画シナリオも手掛け、今後の活躍が注目される作家である。

【かおう・おさむ】1949年生まれ、東京都出身。73年、劇団東京ヴォードヴィルショー結成に参加。94年に退団後は、舞台を中心にTVドラマ、映画など多くの作品に出演している。近年の主な出演作品に、『舞台』『耳なし芳一』『十三人の刺客』『金閣寺』『東海道四谷怪談』『炎立つ』『映画』『ストロベリーナイト』(TVドラマ)『ATARU』(TBS)『夜行観覧車』(TBS)『クロコーチ』(TBS)『流星ワゴン』(TBS)などがある。



長男・元司
花王おさむ
むしろ父の
気持ちがわかる



**そこにいない人に
スポットが当たる作品の魅力**

兄弟たちの「見栄と保身」に隠れた本当の姿を浮き彫りにするのは、父の世話をする民生委員の女性・石野のほかに、回想シーンで彼らの身の回りの女性たちを演じる井上さんだ。

井上●本読みをしてみて、初演とは違う思いを抱きましたね。民生委員はご主人を亡くしているし、智実が務める会社の女社長はお父さんの具合が悪い、輝男の愛人は彼の会社が倒産しかかっている。お母さんに至っては自分の死期が迫っていることを子供たちに伝えていく。いろんな事情を抱えている人たちが、共感しあったり、支えあったり、思いを託したり、そんなお芝居です。

物語で語られるのは父のことばかりだが、兄弟たちの知りうる断片と石野の話から見えてくるのは、実はすでに亡くなっている母の姿だったりする。

ベンガル●このお芝居は誰にとっても切実な問題を描いていますから、楽しい反面、きつい部分もありますよ。

田村●あれから2年、介護の問題もそうですが、社会的な状況も変わっているので、そういうものを踏まえてお客さんが観て

くださると思う。もしかしたら初演の時とはお客さんの視線に触れる部分が変わってきているかもしれません。そういう意味では、2年という月日が勝手に作品を高め、深めてくれると思います。

中島●初演を観ていても胸が詰まるシーンは随所にあった。役者さんそれぞれがせりふをリアルに受け止めてくださっていたから。演じる皆さんも、客席のお客さまもさまざまな思いが重なってしまうこともあるけれど、それは生きているからこそ負うもの。つまり決して過去形ではなく未来に向かっているのが、この作品の素敵どころです。

もはや蛇足かもしれないけれど、付け加えておきたい。劇場では兄弟のやりとりにぜひ大笑いしてほしい。



『父よ!』

- 作・演出=田村孝裕[ONEOR8]
- 出演=平田 満/ベンガル/徳井 優
花王おさむ/井上加奈子
- 日時=2015年10月22日[木]19:00開演
23日[金]14:00開演(貸切)
24日[土]14:00開演
25日[日]14:00開演
※各公演終了後トークあり。
- 会場=PLATアトスペース
- 料金=[全席指定]一般:4,000円 ほか



次男・輝男
ベンガル
楽しい反面、
切実な物語



【ベンがる】1951年生まれ、東京都出身。自由劇場を経て、1976年に柄本明、綾田俊樹らと共に劇団東京乾電池を結成。最近の活動はテレビでは『とんび』(TBS)『軍師官兵衛』(NHK)。映画は『みなさん、さようなら』『奇跡のリコ』『キッス・リターン 再会の時』『0.5ミリ』など。来年は『さらばあぶない刑事』が公開される。舞台は『さくら橋』『鎌塚氏・振り下ろす』など。来年劇団東京乾電池が結成40周年を迎える。



三男・政夫
平田 満
孤独な男たちの
見栄と保身

【ひらた・みつる】1953年生まれ、愛知県出身。つかこうへい事務所にて俳優活動をスタート。その後は映画・テレビ・舞台などに数多く出演。映画『蒲田行進曲』で日本アカデミー賞主演男優賞など受賞。主な舞台に『熱海殺人事件』『ART』『海をゆく者』『失望のむこうがわ』など。『海をゆく者』『失望のむこうがわ』で第49回紀伊國屋演劇賞個人賞受賞。2005年よりアル☆カンパニーを設立。『ゆすり』『罪』『家の内臓』『冬の旅』『失望のむこうがわ』などを制作。12月にホリプロ『熱海殺人事件』。

四男・智実
徳井 優
夢を諦めるのも
普遍的なこと



【とくい・ゆう】1959年生まれ、大阪府出身。86年より自転車キンクリートに出演。89年、サカイ引越センターのCMでお茶の間の人気者に。その後、舞台・テレビ・映画で活躍。主な出演作は、ドラマ『ケイゾク』『ごちそうさん』『ちゃんぽん食べたか』。映画『Shall we ダンス?』『バンクーバーの朝日』『龍三と七人の子たち』。舞台『嘘は罪』(大人計画プロデュース)『ヒネミ』(遊園地再生事業団)『レミゼラブル』(帝国劇場)『有頂天旅館』(新橋演舞場) 今後『海難1890』『アイアムアヒーロー』等映画公開予定。



民生委員・石野文
井上加奈子
共感し、
支え、託す

【いのうえ・かなこ】つかこうへい事務所設立より参加。『熱海殺人事件』『初級革命講座飛龍伝』など、多くのつか作品に出演。その後の主な出演に、『時の物語』(永井愛作)、『帰郷』(松田正隆作)、『夫婦善哉』(平田オリザ作)、『ダンシング・アット・ルーナサ』、『スティール・マグノリア』など。2005年、平田満とアル☆カンパニーを設立。青木豪、逢菜竜太、前田司郎、松田正隆作・高瀬久男演出、田村孝裕、三浦大輔などの、全作品に出演。次回作は『猫のひたいと鼠のしっぽ』2015年12月スペース雑遊。

『ヴェローナの二紳士』

2015年11月14日・15日
PLAT主ホール

天才の萌芽を感じさせる、珠玉のせりふとイメージのドライブ感
男性キャストだけで魅せる恋と友情の物語が豊橋に初上陸!

蜷川幸雄演出のシェイクスピアが再びやってきます! 前回の歴史劇『ヘンリー四世』と打って変わって、シェイクスピアが若き日に書いた最初のコメディ『ヴェローナの二紳士』です。これがまた、恋ってなに? 友情ってそんなもの? と漫画だったら思わず頭の回りに「?」マークをいくつも飛ばさずにはいられないくらい破天荒な展開なのです。遊学先のミラノで大公の娘シルヴィアを好きになり、初めて恋を知るヴァレンタイン。恋人ジュリアから離れたくなくて友人ヴァレンタインに誘われたミラノ行きを断ったものの、ミラノに来た途端シルヴィアをヴァレンタインから奪おうとするプロテアス。プロテアスに会いたくて変装までしてミラノにやってくるジュリア。二人の男を虜にしてしまう美しいシルヴィア。4人の関係やいかに――。

「この作品、お世辞にも完成度が高い戯曲とは言えないんです。物語の進め方も人物造形も書きっぱなしでツッコミどころも満載。けれども! 言葉そのものが本当にみずみずしくて、イメージの膨らみがあるし、連想が次の連想へつながっていくイメージのドライブ感がある。そのアンバランスのせいで上演される機会は少ないけれど、やれば、こんなに面白い芝居はない。今までいくつも見てきましたが、つまらないと思ったことはなかったと言っていいくらいです。そういう不思議なお芝居なんです。役者が素敵で、宝石のような言葉が耳に入ってきたら、プロットの欠陥とかどうでもいい(笑)。ですからシェイクスピアの大傑作を見よう! という気合いはいりません」。そう語るのは、彩の国シェイクスピア・シリーズで翻訳を担当している松岡和子さん。この『ヴェローナの二紳士』で、シェイクスピア37作品の31本目を手がけることとなります。

出演者も期待と注目の若手ぞろい。まだプラットが建つ前、二兎社『こんばんは、父さん』以来の豊橋となる溝端淳平さん。古くてステージが傾いていた豊橋市民文化会館が懐かしそうでした。俳優とミュージ

ジシャンの二つの顔を持つ三浦涼介さん。豊橋名物を伝えると「僕の好物ばかり」とにっこり。朝ドラ「梅ちゃん先生」でヒロインの恋人役でお茶の間に新風を巻き起こした高橋光臣さん。やったことのない種目がなくらいのスポーツマン。思いついたらひとつ飛び、大好きな旅が最高の気分転換という月川悠貴さんは、蜷川作品には欠かせない娘役です。

お気づきの方もいらっしゃるでしょう。女優さんがいない! そう、これは男優が女性役を演じる“オールメール”シリーズなのです。シェイクスピアの時代には、まだ職業としての女優がいなかったため女性役は声変わり前の少年が演じていました。蜷川演出ではこれが7作目ですが常に話題を振りまいています。引き続き、松岡さんに聞くと…

「オールメールという設定は、役者さんとしては、素の自分からものすごく遠いことを要求されるわけですよ。髪や衣裳に頼らずに素のままでも女性に見えるようなサムシングが必要。蜷川さんは役者さんたちを叱咤して上手に魅力を引き出していく。溝端さんは背も高く、口跡もいいからぜひシェイクスピアをと思ってはいたけど、まさか女性役とはびっくり。純情でぶきっちょなジュリアによく似合っている。月川さんはまさにクールビューティー。さすが娘役を数々演じてきただけあって、男性たちが仰ぎ見る美しいシルヴィアになっている。三浦さんは屈折していて変わりゆくやりの難しいプロテアスを豊かな感受性で演じている。高橋さんはせりふに食い付いてきて、ハンサムだけのおバカなヴァレンタインをどんどん面白くしている。稽古場においても若い役者さんたちってこうやって成長していくのか、と感動させられています。演じる側も、観る側もある種の達成感をいつも以上に感じられるのが、オールメールの魅力だと思います」

いかがです、観てみたかったですでしょうか? それでは、まだ稽古に入る前に行った中島晴美シニアプロデューサーによるインタビューで役者さんたちの声をお届けします!

撮影一谷古宇正彦



溝端淳平

この戯曲を最初に読んだ時は、無理やりな展開だなあという印象でした。喜劇だからかなと思う一方で、僕はシェイクスピアの悲劇をたくさん観ているので何か隠されたものがあるんじゃないかと。そこで感じたのは、若者の恋愛なんて心変わりしたり、違う人を好きになったりすぐに決闘だ! と言ってみたり、まさに喜劇だということです。シェイクスピアも大人になって子供のころの恋愛を振り返って、あの時は辛かったけどバカみただったよねって、そんなつもりで書いたのかもしれない。

今回は溝端淳平がジュリアを演じて、そのジュリアがセバスチャンを演じる、つまり男優が女性役を演じ、その女性役が男装して男になりすますという仕掛けです。衣裳もウィッグも着せ替え人形のようにどんどん試すよとされています。高校の文化祭以来の女性役ですが、自分が女性役をやるなんて微塵も思っていませんでした。プレッシャーもありますが、思いもかけない挑戦に身を任せて新しい自分に出会えるのが楽しみです。

[みそばた・じゅんべい] 2006年度JUNONスーパーボーイコンテストでグランプリに輝く。翌年、ドラマ「生徒諸君!」で俳優デビュー。以降、映像を中心に活躍。舞台は河原雅彦演出『NECK』、野島伸司脚本『ウサニ』、永井愛作・演出『こんばんは、父さん』など。日本アカデミー賞新人俳優賞、日本映画批評家大賞新人男優賞、高崎映画祭最優秀助演男優賞など受賞多数。蜷川作品は『ムサン』に出演。

- 演出=蛭川幸雄 ●翻訳=松岡和子
- 出演=溝端淳平/三浦涼介/高橋光臣/月川悠貴 ほか
- 日時=2015年11月14日[土]・15日[日]両日13:00開演 ●会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定] S席:10,000円/A席:8,000円/B席:5,000円 ほか

- 講師=松岡和子
- 日時=2015年11月13日[金]18:00~19:30
- 会場=PLAT研修室(大) ●参加料=無料、要事前申込
- 申込み=プラットチケットセンター:0532(39)3090



三浦涼介

実は昨年、思い描く姿についていけない自分がいて、芸能活動を休もうと思っていました。これが最後と『わたしを離さないで』の稽古に入った時に、これまで格好をつけて隙を見せないように気を張っていたのに、本当に楽しくて、自由で、前向きになれたんです。そして今まで気づかなかった自分を発見できた。蛭川さんという演出家に出会い、また芸能界でやり続けられるという想いにも…。

シェイクスピアは初めてです。どこかで避けてきたのかもしれませんが、でも早い段階でやっておかなければ後悔するだろうなと思って、受けさせていただきました。プロテアスと自分は共通点が結構あります。こうだ!という芯をもって生きたいのに、周りから言われたことに対して「それは違う」とは思わずに受け入れてしまうところとか。そこが人間らしくて好きなんですけど。原作を大事にしながら、けれど何か自分にしかできない部分を見つけて、観てくださった方に好きも嫌いも両方言っていたような芝居をしたいです。

スタイリスト=殿村美咲

[みうら・りょうすけ] 小学校6年で受けたオーディションをきっかけに芸能界入り。2002年に映画「おきやあ。」で俳優デビュー、その後、ドラマ、映画、舞台で活躍。2010年の「仮面ライダーオーズ/OOO」で一躍人気を博す。2012年SONIC GROOVEから「夏だよHONEY!!」でメジャーデビュー、これまで4枚のCDをリリース。蛭川作品には「ボクらの四谷怪談」「わたしを離さないで」に出演。



高橋光臣

僕はスタートは映像ですが、年に最低でも1本は舞台をやりたいと思っているんです。いい作品に出会えたらいいな、次はどんな作品に出会えるかなと思っていたら、ついに蛭川さんと巡り会うことができました。しかもオールメールシリーズ、どんなふうアプローチをしていったらいいんだろうかとドキドキしているところです。宣伝用のスチール通りのイメージなのか、蛭川さんは時には和のイメージを提示されたりもするので、何にでも対応できるようにしておかないと稽古についていけないんじゃないかと思います。蛭川さんはどのように描こうとされているんでしょうね。ジュリアとプロテアスはキスシーンがありますけど、ヴァレンタインとシルヴィアはどうか(笑)。役者としてやることはいつも一緒ですが、きっと求められることが違うと思うので楽しみです。僕はやれと言われた時に何も引き出せないのが嫌なんです。現場で信頼を築きあげて、作品の中で思い切り走らせていただきたいと思います。

[たかはし・みつおみ] 2005年「ウォーターボーイズ2005夏スペシャル」で俳優デビューし、2006年「轟轟戦隊ボウケンジャー」で人気を得る。2012年のNHK朝の連続テレビ小説「梅ちゃん先生」では、堀北真希演じる主人公に思いを寄せる医学生役で注目を集め、その後も現代劇から時代劇まで幅広く活躍。舞台は堤幸彦演出「真田十勇士」、鄭義信演出「しゃばけ」など。蛭川作品へは初出演。



月川悠貴

これまで蛭川さんの作品には32本参加させていただいていますが、実は1本目は1992年の『NINAGAWA・マクベス』だったんです。以来、16作品がシェイクスピアになるんですけど、役を作っていくうえでいつも「やはりシェイクスピアは難しいな」と感じます。

僕は稽古が始まるまでに、自分が演じる役柄の人物像をある程度把握して、あとは稽古の中で周りの方たちとのバランスで作っていくんですが、今回のシルヴィアという女性には、今のところは一言でいえば「クール・ビューティ」な印象を持っています。前作で演じたジュリエットは情熱的に突っ走っていく、感情を大胆に出す、みたいな部分を持っている女性でしたが、今度のシルヴィアは真逆な感じでしょうか。台本でも、好意を抱いているヴァレンタインに対して直線的に感情を出していく、みたいな表現が少ないので、お客さまにシルヴィアの内面が伝わるように、稽古を通して工夫していきたいと思っています。どうか楽しみにしててください。

[つきかわ・ゆうぎ] 1985年が初舞台。舞台やテレビに出演後、1998年には演歌歌手に。2000年に舞台復帰してからは蛭川作品を中心に活動。特に彩の国シェイクスピア・シリーズの「オールメール・シリーズ」では6作品に娘役として出演し、高い評価を得ている。昨年のNINAGAWALEGEND「ロミオとジュリエット」ではジュリエット役を演じた。

プラットフォームコインコンサート

- 会場=PLATアートスペース
- 料金=[日時指定・全席自由]500円

10/31 SAT

山口茉莉子・中村麻梨絵 ピアノと歌で贈る 音楽の宝箱

- 出演=中村麻梨絵[ソプラノ]
山口茉莉子[ピアノ]
- 日時=10月31日[土]14:00開演
- 曲名=オペラ「ドン・パスカール」より
“あの目に騎士は”/G.ドニゼッティ
オペラ「ファウスト」より
ワルツ/C.グノー・F.リスト ほか



山口茉莉子



中村麻梨絵

2016 1/11 MON

宮部まどか ピアノで巡るアンダルシア

- 出演=宮部まどか[ピアノ]
- 日時=2016年1月11日[月・祝]11:30開演



宮部まどか

2016 1/29 FRI

宮脇泉月 ヴァイオリンで奏でる名曲訪ね歩き

- 出演=宮脇泉月[ヴァイオリン]
松山美津穂[ピアノ]
- 日時=2016年1月29日[金]11:30開演



宮脇泉月

2016 2/19 FRI

井垣壮太 ワンスプーンコンサート

- 出演=井垣壮太[ピアノ]
- 日時=2016年2月19日[金]11:30開演



井垣壮太

10/22 THU—10/25 SUN

好評発売中

穂の国とよはし芸術劇場PLATプロデュース 父よ!

- 作・演出=田村孝裕[ONEOR8]
- 出演=平田 満/ベンガル/徳井 優/花王おさむ/井上加奈子
- 日時=10月22日[木]19:00開演/23日[金]14:00開演(貸切)
24日[土]14:00開演/25日[日]14:00開演 ※各公演終了後トークあり。
- 会場=PLATアートスペース ●料金=[全席指定]一般:4,000円 ほか

10/23 FRI

当日券の販売に関しては
お問い合わせください。

前売予定枚数終了

野村万作・野村萬斎 狂言公演

- 出演=野村万作/野村萬斎 ほか
- 日時=10月23日[金]19:00開演 ●会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定]S席:5,000円/A席:4,000円/B席:2,000円 ほか

10/28 WED

好評発売中

演劇集団キャラメルボックス 水平線の歩き方

劇団創立30周年を迎える、「誰でも楽しめるエンターテインメント」で人気の演劇集団キャラメルボックス。小説に短編があるように、演劇に短編があってもいいじゃないかと120分の魅力を60分に凝縮したシリーズをお届け!

- 脚本・演出=成井 豊 ●出演=岡田達也/岡田さつき/前田 綾/大内厚雄 ほか
- 日時=10月28日[水]

- 19:00開演
- 会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定]
S席:4,000円
A席:3,000円
B席:2,000円 ほか



「水平線の歩き方」(2011年)
Photo:伊東和則

11/7 SAT—11/8 SUN

好評発売中

高校生と創る演劇 赤鬼

- 作=野田秀樹 ●演出=黒澤水莉[時間堂]
- 出演=オーディションで選ばれた高校生
- 日時=11月7日[土]13:00開演・19:00開演/8日[日]13:00開演・17:00開演
- 会場=PLAT主ホール舞台上特設舞台
- 料金=[日時指定・全席自由・整理番号付き]一般:2,000円 ほか

11/14 SAT—11/15 SUN

残りわずか

彩の国シェイクスピア・シリーズ第31弾 ヴェローナの二紳士

- 作=W.シェイクスピア ●演出=蛭川幸雄
- 演出補=井上尊晶 ●翻訳=松岡和子
- 出演=溝端淳平/三浦涼介/高橋光臣/月川悠貴 ほか
- 日時=11月14日[土]・15日[日] 両日13:00開演 ※14日公演終了後トークあり。
- 会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定]S席:10,000円/A席:8,000円/B席:5,000円 ほか

12/1 TUE—12/2 WED

好評発売中

オレアナ

紳士的な態度で相談にのつたはずの大学教授を、後日セクハラを理由に大学当局に訴える女子学生。全世界を話題に巻き込んだ問題作を、田中哲司と、今作で初舞台を踏む志田未来の二人でお贈りします。

- 作=デイヴィッド・マメット ●翻訳=小田島恒志
- 演出=栗山民也 ●出演=田中哲司/志田未来
- 日時=12月1日[火]19:00開演/2日[水]13:00開演
- 会場=PLAT主ホール ●料金=[全席指定]一般:7,800円 ほか

12/13 SUN

好評発売中

小曾根 真 クリスマス・ジャズセッション

小曾根真をリーダーに、10年以上にわたってオリジナルの音楽を作り続けてきたビッグバンド「No Name Horses」。その精鋭たちが、一夜限りのクリスマスジャズコンサートをお贈りします。

- 出演=小曾根 真[ピアノ]
エリック宮城[トランペット]
中村健吾[ベース]
高橋信之介[ドラムス]
- 日時=12月13日[日]17:00開演
- 会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定]S席:6,600円
A席:5,000円
ユース[24歳以下]S席:3,300円
A席:2,500円



©Yow Kobayashi Yamaha

2016 1/6 WED—1/7 THU

熱海殺人事件

故・つかこうへいの代表作『熱海殺人事件』が奇跡のキャストで復活。過去に同作でコンビを組んだ風間杜夫と平田満の二人に、つかの一人娘であり元宝塚歌劇団雪組トップ娘役の愛原実花、テレビや映画で活躍中の中尾明慶という新キャストを加えた伝説の舞台をお見逃しなく。

会員先行=10月10日[土] 一般発売=10月25日[日]

- 作=つかこうへい ●演出=いのうえひでのり[劇団☆新感線]
- 出演=風間杜夫/平田満/愛原実花/中尾明慶
- 日時=1月6日[水]19:00開演/7日[木]13:00開演 ●会場=PLAT主ホール

- 料金=[全席指定]
- S席:9,000円
- A席:7,000円
- B席:5,000円



2016 1/16 SAT

日本フィルハーモニー交響楽団ニューイヤーコンサート

西本智実と日本フィルハーモニー交響楽団が贈る、華やかな新年の幕開け!前半は“ワルツ王”と呼ばれるヨハン・シュトラウスⅡ世の優美な世界を、後半はドヴォルザークの美しく郷愁に満ちた旋律をお楽しみください。

会員先行=10月3日[土] 一般発売=10月24日[土]

- 指揮=西本智実 ●出演=日本フィルハーモニー交響楽団
- 日時=1月16日[土]16:00開演
- 会場=ライフポートとよはし コンサートホール
- 料金=[全席指定] S席:4,500円/A席:3,000円
- ユース[24歳以下] S席:2,200円/A席:1,500円

2016 1/23 SAT

コンドルズの“からだ遊び”って面白い!

遊び心いっぱい男性のみ学ラン姿で活躍するダンスカンパニー・コンドルズがお届けする、からだ遊びを体感する観客参加型の親子向けステージ。0歳から楽しめます。

会員先行=11月7日[土] 一般発売=11月21日[土]

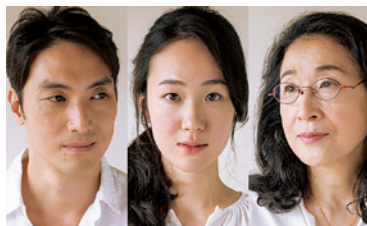
- 構成・映像・振付=近藤良平 ●出演=コンドルズ
- 日時=1月23日[土]15:00開演 ●会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定] 大人:2,500円/子ども[高校生以下]:500円

※3歳以下は保護者膝上限り無料。

2016 2/2 TUE

二兎社 書く女

2014年映画『小さいうち』でベルリン国際映画祭最優秀女優賞を23歳で受賞し、現在最も注目を集める若手女優・黒木華が、樋口一葉を演じます。2006年に寺島しのぶ主演で上演され、朝日舞台芸術賞(舞台芸術賞)、読売演劇大賞(最優秀女優賞)を受賞した話題作を、10年目の節目となる2016年、キャストを一新して再演いたします。



会員先行=10月31日[土] 一般発売=11月14日[土]

- 作・演出=永井愛 ●作曲・ピアノ演奏=林正樹
- 出演=黒木華/平岳大/木野花ほか
- 日時=2月2日[火]18:30開演 ●会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定] S席:6,000円/A席:5,000円/B席:3,000円ほか

◎関連企画—プレトーク参加者募集

- 出演=永井愛[劇作家・演出家]
- 日時=2016年2月1日[月]18:00開始(受付開始17:30)
- 会場=PLAT研修室(大) ●料金=無料
- 申込方法=プラットチケットセンター TEL:0532(39)3090

好評受付中

10/24 SAT

ワークショップファシリテーター養成講座2015後編

キックオフ講座 ひとが集う場のつくり方、味わい方

人が集える場をつくる方法や、社会に開くことによって味わえるおもしろさなど、個人がアートを通じて社会とつながる可能性を考えていきたいと思います。

- ゲスト=アサダワタル[日常編集家]
- 聞き手=吉野さつき[愛知大学文学部メディア芸術専攻准教授]
- 日時=10月24日[土]14:30~16:30 ●会場=PLAT研修室(大)
- 対象=ワークショップに興味のある方ならどなたでも
- 定員=30名程度(申込順) ●参加料=無料
- 締切=定員に達し次第締切
- 申込方法=プラットチケットセンター TEL:0532(39)3090

好評受付中

11/8 SUN—2016 2/6 SAT

ワークショップファシリテーター養成講座2015後編

まちに聞く、考える

「街」をテーマに実施するワークショップを体験し、人が集まり、つながる仕組みやファシリテーションについて学べる講座です。

- 講師=柏木陽[演劇百貨店]/すずきこた[演劇デザインギルド]ほか
- 日時=11月8日[日]~2016年2月6日[土](全11回)13:00~17:00
- 対象=上記日程に極力参加できる18歳以上
- 定員=20名程度(申込順) ●参加料=3,000円(全11回)
- 締切=11月2日[月] ●申込方法=◎参加申込書に必要事項を記入の上、プラット一階窓口またはFAX:0532(55)8192まで。

チケットの購入・お問合せ プラットチケットセンター

●劇場窓口・電話 ●オンライン
0532-39-3090 <http://toyohashi-at.jp>

[休館日を除く10:00~19:00] [24時間受付・要事前登録]

プラットフレンズ募集 入会金・年会費無料

●特典

- 1 公演情報をメールでご案内します。
- 2 インターネットでチケット予約ができます。
- 3 主催公演のチケットを一般発売に先がけてご予約できます。

※劇場窓口または劇場ホームページからご登録いただけます。

<http://toyohashi-at.jp>

U24・高校生以下割引ご案内

ほぼすべての財団主催公演に、若い人にお得な料金を設定しています。

- 料金=U24[24歳以下対象]:公演ごとに指定する席種の半額
- 高校生以下:一律1,000円 ●購入方法=各公演の一般発売初日から窓口にて取扱い。
- その他=本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。座席の指定はできません。要・入場時身分証明書提示。

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

〒440-0887 愛知県豊橋市
西小田原町123番地

Tel 0532(39)8810[代表]

開館時間=9:00~22:00

休館日:第三月曜・年末・年始。

第三月曜が祝日の場合はその翌平日。

豊橋駅(JR東海道新幹線・東海道本線・

名古屋鉄道)、新豊橋駅(豊橋鉄道渥美

線)直結。豊橋駅南口から徒歩3分。

※駐車場はありません。公共交通機関、お近くの公共駐車場をご利用下さい。



ワークショップファシリテーター養成講座前期の成果発表として『ワークショップ縁日』をプラットで開催しました。10代から60代まで、学生、会社員、主婦、定年退職後の方々まで、約30名の受講生が6チームに分かれてワークショップを企画・実施。トライ&エラーを繰り返して迎えた本番の様子をレポートします。

劇場で過ごす、夏休み最後の日曜日

8月30日にプラットで行われた『ワークショップ縁日』は、ゲームや工作など7つのワークショップを中心に、ロビーコンサートや劇場ツアーも加えた、まさに「縁日」の名にふさわしい盛りだくさんの体験ができるイベントでした。養成講座の受講生が担当したワークショップは、午後に行われた「スリッパとぼそ!」「色とかけであそぼう!」「スーパーものがたりスゴロク」「いろどり・ふちどり・じぶんスタンプ」「くうきであそぼう! うちわでとぼそ!」「手作り楽器をならそう!」の6つ。どれもこの日のために考えた、手作り感満載のオリジナルです。今日のために、講師や他の参加者から講評を受け、ちょっと変更を加えてシミュレーションを繰り返す。子どもたちが安全に楽しむことができるかどうか、集中力のない小さな子にもどうしたら楽しんでもらえるか、様々なことに気を配りながら企画した夏休み最後の日曜日でした。

養成講座の講師 すずきこーたさん、 柏木 陽さんに お話を伺いました

— 養成講座は2年目を迎えました。初年度は劇場側も手探りの部分がありました。少し形が見えてきた気がします。

柏木: そうですね、2年目の受講生の人たちは既にある程度概略を掴んでくれていますし、ワークショップという言葉も広く使われるようになってきているので、自分なりのイメージや考え方をしている人もいます。そういう状況の中で、僕らの持っている知識や経験を伝えながら、参加者同士の相互作用が少しずつ生まれ



柏木 陽



『ワークショップ縁日』 トライ&エラーの繰り返して 豊かな場を創り出す。

「縁日」から生まれた縁

そして迎えた当日、準備に思った以上に時間がかかってしまったり、予定より多くの人に来てくれて、嬉しい悲鳴を上げつつ焦る場面も。子どもたちの反応は本当にまちまちで、迷わずどんどん一人で進めて行く子や、じっくり考えて慎重に進めるタイプの子、なかには説明を聞いてくれない子もいます。でも、講師で

あるすずきこーたさん、柏木陽さんのアドバイスも受けながら「しっかりリアクションをとってあげると子どもたちも安心して喜んでくれる」「子どもはすごい想像力があるから、やってあげるといふより、謙虚な気持ちをもって一緒に作る事が大切だと思った」など受講生はそれぞれファシリテーターとして大切なことを発見した様子。参加してくれた子どもも親御さんも受講生たちも、この縁日を通して劇場と長い縁が築けた特別な一日となりました。



【いろどり・ふちどり・じぶんスタンプ】
大きな模造紙に自分の身体をテープで縁取り、色をつけていきます。



【手作り楽器をならそう!】
空になったヤクルトの容器とストローを使って簡単な笛を作ります。

るようになってきた気がします。それは『ワークショップ縁日』をやった一つの成果でもあると思います。

— 最初はもう少しワークショップのテクニックみたいなものを学ぶ講座をイメージしていた部分もありました。

すずき: ファシリテーターをやる中で大切にしていることのひとつは、みんなで何かを目指す場を作ることだと思っています。もともと養成講座をやるとお話をいただいた際も、例えばみんなでするゲームのやり方を教えるということではなく、僕らが普段大切にしていること自体を伝えられるといいかなと思っていました。

柏木: ワークショップは参加者によって変化する幅が広いので、それに対応するすべは自分で実地で学んだ方がむしろ効果的なんです。



すずきこーた

すずき: この講座では時間もある程度かけられるので、考えて、試してみて、みんなのフィードバックを受けてもう一回試してみるということが可能です。僕は講師というよりまさにファシリテーターとして、参加者が自分たちで試し、失敗し、また試し発見していくような場を作りたいと思っています。

— 劇場として今年から本格的に小学校へのアウトリーチ活動なども始まりました。ここで学んだことを自分たちの職場や地域での活動に活かしてほしい、理想を言えばぜひ地元から一緒に小学校へワークショップに行き、ファシリテーターとして活躍してほしいです。引き続き、よろしくお祈りします。

ワークショップファシリテーター
養成講座2015後期
まちに聞く、考える

好評
受付中

●日時=11月8日[日]—2016年2月6日[土]
[全11回] 13:00~17:00



第13回

芸術文化アドバイザー

平田 満の
ちよこつと
エッセイ

「スタッフの要」

お恥ずかしい話、今いっばしの俳優みたいな顔をしています。演劇というものを始めた若いころは本当に失敗の連続でした。

極めつけはある芝居のクライマックスシーンで、「ごらん、これが飛龍だ!」と思い入れたっ

ぶりに話の中心になる伝説の石を取り出す時、その石を忘れてしまったことでしょう。当時は役者が小道具を用意しましたし、その時は最少人数の地方公演で他にスタッフはいませんでしたから、すべて私の責任で誰にも助けを求められない状況でした。

窮地に至った私は舞台上をもったいぶって歩き回り、上手、下手の袖に入っては石を探し、どうしても見つからないので仕方なく舞台中央に戻り、無対象演技で何も無い手の内に向かって、「これが飛龍だ!」と叫んだのでした。私は冷水三斗、やけっぱちの心境でした。

こんな時にサポートしてくれる心強い存在が、舞台監督です。本来は美術家のデザインした装置を作り、各スタッフとの調整を図り、本番中も舞台裏で芝居が円滑に進むよう準備した

り目配りしたりしているのですが、アクシデントや緊急時には現場監督として責任を負う重大な使命を担っています。

私たちアル☆カンパニーの舞台でも、東日本震災のときの舞台稽古時には、沈着冷静な判断で速やかにスタッフを避難させたり、道具が届かないピンチにはありあわせの材料で手作りの大道具を作ってしまったたり、電球をこぶしで割りたいとの演出の要求には、一夜で完璧なロウ細工を提出するという驚くべき対応力の、いまやカンパニーになくはならない舞台監督がいらっしゃいます。

その最強の舞監、金安さんが、「父よ!」ではなんと最後を締めくくる重要な人物として舞台上に現れます。お楽しみに!



<p>知識製造業 http://www.san-en.co.jp</p>	<p>代表取締役 竹尾 誠 株式会社 竹尾建築設計事務所 豊橋事務所 / 豊橋市平川南町91-2 〒440-0035 Phone.0532-62-1331 (代) Fax.0532-62-1332 浜松事務所 / 浜松市東区流通元町13 〒455-0007 Phone.053-422-3628 (代)</p>	<p>伊藤 藤 文之 院</p> <p>豊橋市小池町字原下三五 電話四五二八三番(代)</p>	<p>看板 広告 アラキ スタヂオ</p> <p>豊橋市上伝馬町十六 電話 〇五五八六番</p>	<p>大島整形外科クリニック</p> <p>東田町井原三九の七(市電赤石駅終点前) 電話 六二一五五二番(代)</p>	<p>本 豊川堂</p> <p>アルミピア 店 五四一六八八番 アピタ 店 五四一三〇〇番 店 五四一六三五一番</p>	<p>YMバレエカンパニー</p> <p>ハロートウ 21 8610</p>	<p>有限会社 魚 伊</p> <p>電話 52-5256</p>	<p>本と文具なら 精文館書店</p> <p>TEL.54-2345</p>
--	---	---	--	---	--	--	-----------------------------------	--

竹内産婦人科

産婦人科 婦人科(不妊治療)

豊橋市新本町 23

豊橋 竹内産婦人科 検索

水各種販売 / 冷蔵倉庫業

大正冷蔵

本社 豊橋市湊町 117
TEL: 0532-52-1161
FAX: 0532-52-8015

COFFEE harobaro

コーヒーハロバロ

市民文化会館内にOPEN!

写楽集団・クラブ KAIHO

DAIGOLAW 法務
NORI-G 事務
GUCCHI 事務
TAKEDA 法務

photo

株式会社 谷山建築設計事務所

豊橋市西羽田町一八三
http://taniyama-archi.com

グロトリアンピアノノ地域特約店

白羽楽器株式会社

電話 053-464-13015

ONOCOM

株式会社オノコム

YOSHINO ASSOCIATES

architects & engineers

http://www.440a.co.jp

安心・安全な地下駐車場

パーク500

プラット主ホール・アートスペース公演等へのお客様は30分150円を30分100円(上限4時間まで)に割引します。

ソウの親子の看板が目印

稲荷堂

壺屋舟当部 販: 0532-2118

豊橋調理製菓専門学校

調理と製菓のおいしい資格。

豊橋市八町通一丁目二二番一 電話 五三二一八〇九

豊橋名産 舟ちくわ

練物 専門家

舟ちくわ 花ぞん

コロンフロント ホテルアーケイツシュー

気まぐれコンサート

事務局 / 0532-62-9259 (小川恵司)

茶屋 るる

am.10:00 ~ pm.5:00

甘味処 抹茶・コーヒー あんみつ・豆かんてん

中岩田5丁目6の4 TEL.63-0202

共和印刷株式会社

豊橋市小池町36番地の1

TEL 461-3281 FAX 461-3285

整形外科・皮膚科・リウマチ科・リハビリテーション科

医療法人 大岩整形外科・皮フ科

院長 大岩 俊久
豊橋市大橋通二丁目二二番 電話 五五一二一〇〇

創業文政年間 日築 ぎく宗

豊橋市新本町40 電話52-5473番

高誠堂

伝統的工芸品 豊橋筆 書道用品 専門店

豊橋市呉服町四拾四番地 電話 五二一五五一四

井上皮フ科クリニック

0532-55-7007

診療時間
月・火・木・金 10:00~13:00 16:00~19:00
土 10:00~14:00
休診日-水・日・祝

愛知県豊橋市向山町字中畑13-1
マイルストーン1F

塩之谷整形外科

院長 塩之谷 昌
副院長 塩之谷 香

豊橋市稲田町関取54 電話(0532)25-2115(代)

広告募集

プラス・ワンの付加価値をお客様に提供いたします。

高誠堂

高誠堂

PLAT CALENDAR

11 NOVEMBER

- 3 TUE とよはしまちなかスロータウン映画祭『ミッチズ・リル・ブラッツ・プラスバンド ライブ
～マルディグラ in TOYOHASHI～』 ●PLATアートスペース
- 7 SAT Stimme des Herzens 室内楽コンサート ●PLATアートスペース
- 7 SAT—8 SUN 高校生と創る演劇『赤鬼』 ●PLAT主ホール舞台上特設舞台
- 8 SUN 突撃おたま苦楽部 石塚まみビートルズを唄う ●PLATアートスペース
- 10 TUE 桂文我独演会 ●PLATアートスペース
- 13 FRI 能楽らいぶ ●PLATアートスペース
- 14 SAT—15 SUN 彩の国シェイクスピア・シリーズ第31弾『ヴェローナの二紳士』 ●PLAT主ホール
- 15 SUN ビティナ・ピアノステップ 豊橋秋季 ●PLATアートスペース
- 17 TUE—19 THU 豊橋演劇鑑賞会 第251回例会『女王メディア』 ●PLAT主ホール
- 22 SUN 第4回向日葵会 発表会 ●PLAT主ホール
- 28 SAT Mask-Mime KAMEN 清水きよしまймワークス ●PLATアートスペース
- 29 SUN 第58回豊橋邦楽大会 日本舞踊 ●PLAT主ホール
佐野夏希ピアノリサイタル ●PLATアートスペース

12 DECEMBER

- 1 TUE—2 WED 『オレアナ』 ●PLAT主ホール
- 5 SAT—6 SUN 劇団「第五会議室」第5回公演『聖夜の道化師』 ●PLAT主ホール
- 13 SUN 小曽根真 クリスマス・ジャズセッション ●PLAT主ホール
- 20 SUN 松元ヒロ ソロライブ ●PLATアートスペース
- 23 WED 不朽流吟詠会95周年記念 第65回吟道大会 ●PLAT主ホール
ゆかり会 Petit Conert ●PLATアートスペース
- 25 FRI—26 SAT Candy Box III ●PLATアートスペース
- 27 SUN 藤城バレエアカデミー第2回発表会 ●PLAT主ホール

[表紙写真]『赤鬼』プレワークショップにて衣裳の及川千春さんからレクチャーを受ける高校生たち。衣裳からも舞台のイメージが膨らむ。

企画・発行＝公益財団法人豊橋文化振興財団

編集＝今井浩一

デザイン＝松吉太郎デザイン事務所

写真[表紙]＝萩原ヤスオ

平成27年10月 発行16号 [隔月発行]

穂の国とよはし芸術劇場

TOYOHASHI ARTS THEATRE

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地

Tel.0532(39)8810[代表] <http://toyohashi-at.jp>

